

学校概要

1 学校名

豊橋市立前芝中学校

【校章】



※波の上に前芝の頭文字のM、中央に中学の文字がデザインされている。

【スクールキャラクター】



※本校の敷地から出土した銅鐸をモチーフにデザインされている。

2 所在地

〒441-0152

豊橋市前芝町字塩見1番地

TEL:0532-31-0507 Fax:0532-34-1681

<http://www.maeshiba-j.toyohashi.ed.jp>

E-mail:maeshiba-j@toyohashi.ed.jp

【交通案内】 しおかぜバス（コミュニティーバス） かずクリニック前下車 徒歩2分

J R 東海道線西小坂井駅下車 南西へ2.5km 徒歩30分

3 学校規模

学級数：通常学級 6学級 特別支援学級 2学級 合計8学級

教職員数：校長1 教頭1 教諭14 養護教諭1 事務職員1

用務員1 非常勤講師等8 給食従業員1 合計28名

校長	谷中 緑	3学年主任	光部 奈津子	拠点校指導員	富安 義夫
教頭	金澤 茂	1組	岩瀬 明美	通級指導	村松 理恵
教務主任	河合 伸治	2組	中林 秀明	ALT	ジェームス ブティック
校務主任	廣田 雅昭	2学年主任	山田 俊	非常勤講師	丸地 利幸
養護教諭	田中 里枝	1組	作中 菜緒		平野 明子
事務職員	山本 繁則	2組	黒柳 友子	スクールカウンセラー	竹尾 萌花
用務員	加藤 秀樹	1学年主任	河合 泰志	学校司書	伊奈 登美子
		1組	乙部 博貞	給食従業員	羽柴 留美
		2組	新木 美輪		宮口 律子
		3・4組	木藤 直樹		
			福井 志津江		
			伊原 佳子		

生徒数：男子74名 女子58名（平成27年9月1日現在） 合計132名

	1年生	2年生	3年生	合計
男子	28	25	21	74
女子	18	17	23	58
合計	46	42	44	132

4 本校の教育

(1) 本校の歴史

本校は、豊橋平野の北西部、豊川河口の右岸に位置し、校区には国道23号線が通っている。昭和22年に開校した宝飯郡前芝村立前芝中学校が、昭和29年の町村合併によって、豊橋市立前芝中学校となり、現在に至る。保育園、小学校、中学校が隣接しており、伝統的に保育園、小学校、中学校が連携して教育活動を進めている。

(2) 本校の教育目標

「こころ明るく たゆまぬ努力」

本校の目標は、知・徳・体の調和のとれた、人間性の豊かな生徒を育てることである。

- くめざす生徒像 > ○自ら学ぶ生徒
○礼儀正しい生徒
○たくましい生徒

(3) 経営方針

- ① 生徒が主役の、一人一人にとって『感動と輝き』『感謝』の場のある教育活動の展開
 - 仲間（児童生徒・職員・地域）とのかかわりのなかで、感動を体感したり、思いやりや感謝の心を育んだりする教育活動を展開する。
 - 「いのちを尊び」「生き抜く力を醸成し」「生き方を考える」教育活動を展開する。
 - 学ぶ意欲の喚起を根底に、基礎・基本の習得で自信をつけ、聴く力や、発言・発表などの表現する力の育成で、かかわりあって学ぶ喜びを感じる学習指導を推進する。
- ② 平成28年度の隣接型小中一貫校の設立に向け、保・小・中連携による生徒の「つながりのある学び」と、学校・家庭・地域の連携による開かれた信頼される学校づくりの推進
 - 園児・児童・生徒や地域との交流活動を展開し、自己有用感を育む。
 - 保・小・中の教職員交流により、子どもの発達や指導・支援の相互理解を深めたり、授業改善をしたりし、共通意識のもとで生徒の育ちを指導・支援する。
 - 地域の一員、お年寄りや小学生・保育園児を守る立場としての防災意識を高めるとともに、生徒が安心して安全に過ごすことができる教育環境をつくる。
 - 生徒の様子や教育活動の情報を積極的に発信するとともに、家庭・地域の声を大切にしたい学校づくりを推進する。
- ③ 「生徒にとって、最大の教育環境である」と自覚する教師集団の育成
 - 生徒にとって、家族とともに一番身近な「生きるお手本」として躍動する。
 - 組織人として行動し、持ち味を生かして支え合い・高め合う。
 - 生徒への愛、教育への情熱をもち、力量向上のために研鑽をつむ。

(4) 本年度の重点努力目標

- ① 授業構想や授業形態の工夫により、基礎・基本の習得で自信をつけさせる。聴く力や発言・発表の表現力の育成で、学びを深める学習指導を推進する。
- ② 生徒の自主的な活動の場を設定し、試行錯誤や体験に学ばせる。生徒一人一人に応じた支援をし、成長や良さを認めて自己肯定感を味わわせる。
- ③ 生徒の健全な成長を促すために情報モラル教育を学校・家庭で連携して行うとともに、生徒たちが主体となって考えるメディアのルールづくりを推進する。
- ④ 将来への可能性の広がりや日々の生活を充実させるために、将来の夢や希望を思い描かせる活動を推進すると同時に、個に合った堅実な成長のために近くの目標をもたせる。
- ⑤ 工場の進む環境の中で、安全に生活したり工夫のある教育活動をしたりする。
- ⑥ 学校・家庭・地域や保・小・中の連携を基に、対話で密に情報交換をしたり、たよりで相互の情報発信・情報共有をしたりし、次年度以降の「小中一貫校」設立に向けて推進する。
- ⑦ 相互授業参観や授業研究を実践し、教員相互にかかわり合いながら授業力向上に努める。
- ⑧ すべての教育活動において『ねらいや目標を意識』し、その達成に向けて活動を進める。